

令和2年度市町村税決算状況（速報）

令和3年6月29日

令和2年度の市町村税徴収率は97.2%と、17年ぶりに前年度を下回りましたが、新型コロナウイルスによる徴収猶予の特例の影響を除くと、県・市町村連携による徴収強化の取組や市町村の徴収努力などにより、徴収率は98.0%と前年度を0.2%上回りました。

市町村の自主財源の確保を図るため、令和3年度も引き続き市町村と連携し、以下の徴収確保の取組を推進します。

○ 令和2年度市町村税決算状況（速報）

市町村税収入額：1,552億2千万円

（対前年度比▲1.3%、▲20億3千万円減）

徴収率：97.2%

（対前年伸び率▲0.6ポイント）

新型コロナウイルスによる徴収猶予の特例を除いた場合（試算値）

徴収率：98.0%（対前年伸び率+0.2ポイント）

○ 県・市町村連携による徴収確保の取組を推進します！

1. 「おおいた徴収カレッジ」開催（主催：公益財団法人分県自治人材育成センター）

「おおいた徴収カレッジ」では、県と市町村の徴収職員が徴収のノウハウを学び、自治体間のネットワークを強化するという目的の下、県内・県外の先進団体等から講師を招き、職員の経験年数に応じて実践的な研修を行っています。

- 初任者コース（6/22～23, 8/10）、リーダー養成コース（6/17～18, 8/3～4）、マネジメントコース（7/6～7）

2. 県職員派遣による支援と市町村間の相互併任の実施

徴収技術の円滑な承継と組織的な滞納整理の推進のため県職員を派遣し、徴収率の向上を目指します。

さらに、市町村間の職員の相互併任を実施することで、搜索等の滞納処分や、困難事案の検討等を連携して行います。

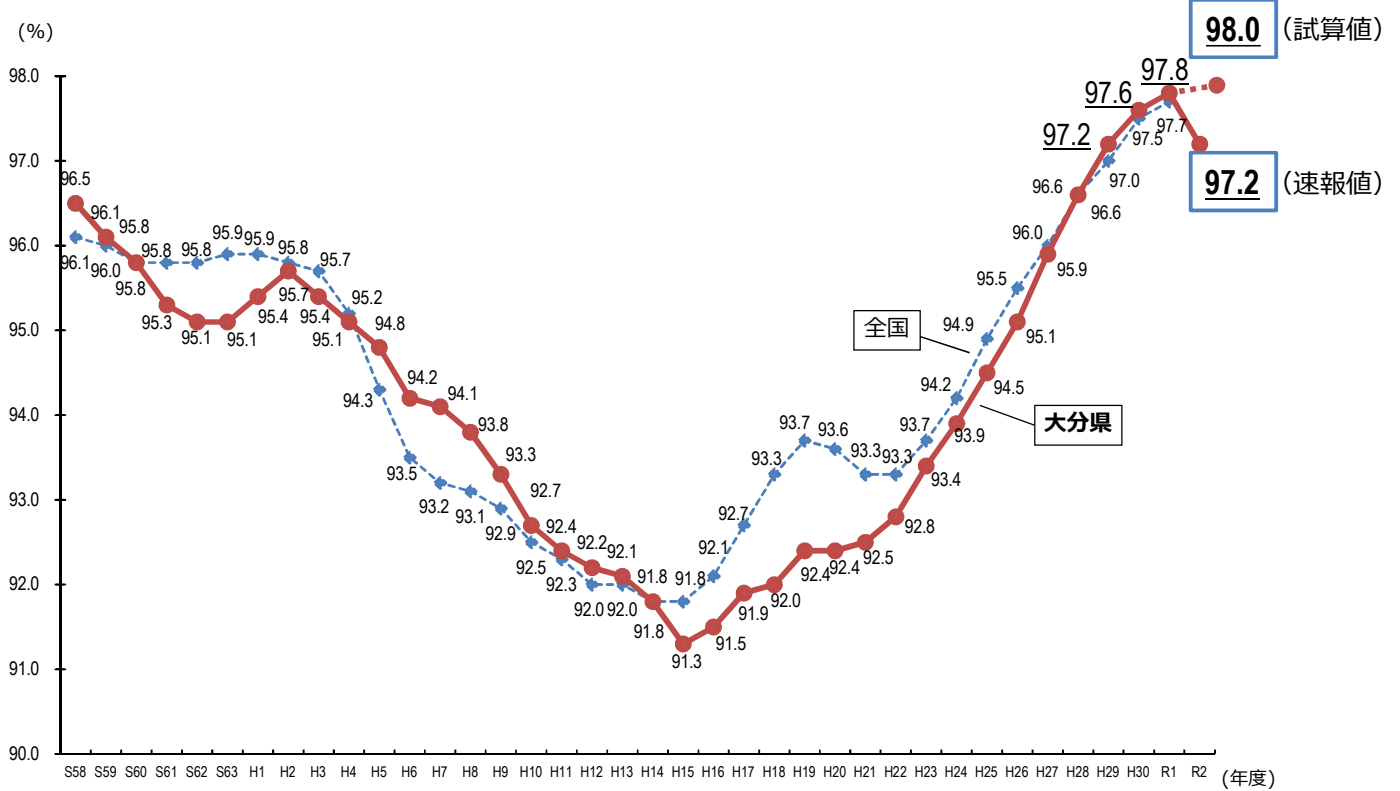
- ・県職員派遣の受入れ及び相互併任制度を活用している市町（13市町）
別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、豊後高田市、杵築市、由布市、国東市、日出町、九重町、玖珠町
※竹田市、豊後大野市は相互併任制度のみ活用

3. 県・市町村共同による固定資産税（償却資産）調査の推進

市町村が行う固定資産税（償却資産）の調査に県から職員を派遣し、県・市町村共同で事業所への実地調査等を行っています。今年度は以下の3市において調査を実施し、適正課税に向けた取組をさらに推進します。

- ・令和3年度共同調査（県職員併任派遣）実施団体
新規：国東市 継続（昨年度実施）：杵築市、宇佐市

◆市町村税徴収率の推移について（全税目計、現年分・滞納繰越分合計）



◆市町村別の徴収率について

・市町村税徴収率（全税目計、現年分・滞納繰越分合計）

区分 市町村名	市町村税徴収率		
	令和2年度	令和元年度	伸び率 (1→2)
大分市	98.6	99.3	▲ 0.7
別府市	95.6	96.1	▲ 0.5
中津市	96.6	96.8	▲ 0.2
日田市	96.7	97.1	▲ 0.4
佐伯市	95.3	95.7	▲ 0.4
臼杵市	95.0	94.7	0.3
津久見市	95.3	96.0	▲ 0.7
竹田市	96.2	96.0	0.2
豊後高田市	97.4	97.5	▲ 0.1
杵築市	94.1	93.6	0.5
宇佐市	96.5	97.3	▲ 0.8
豊後大野市	96.8	96.5	0.3
由布市	94.4	94.9	▲ 0.5
国東市	96.9	97.6	▲ 0.7
姫島村	98.3	98.0	0.3
日出町	95.6	95.9	▲ 0.3
九重町	93.2	94.2	▲ 1.0
玖珠町	96.3	95.7	0.6
県計	97.2	97.8	▲ 0.6

(参考) 主要税目の徴収率（現年分・滞納繰越分合計）

区分 市町村名	主要税目徴収率	
	住民税	固定資産税
大分市	99.1	98.1
別府市	96.7	94.3
中津市	97.1	95.8
日田市	97.7	95.7
佐伯市	96.4	93.9
臼杵市	96.0	94.1
津久見市	96.4	94.1
竹田市	97.2	95.0
豊後高田市	96.9	97.7
杵築市	95.6	92.7
宇佐市	98.2	94.5
豊後大野市	97.8	95.6
由布市	94.6	93.6
国東市	98.5	95.6
姫島村	100.0	96.0
日出町	96.9	94.0
九重町	96.2	91.8
玖珠町	98.3	93.9
県計	98.0	96.4